

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良く なっている	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・エコポイント絡みで地上デジタル対応テレビの売行きとその他年末の商品の動きが良かった。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・生活に密着したコンビニの商品が認められてきているようで、近くのスーパー等の客がコンビニに集まってきている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・11月からイルミネーションの夜間営業を開始したため、来客数が増加している。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	単価の動き	・前年同月と比較すると客数は減っているものの、単価はわずかながら上がっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近くにカラオケ店とホテルが開業したことにより、夜間の客数が増加している。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・おせちあるいはクリスマスケーキの販売量が貢献したのだと思うが、売上高と販売量が増えている。
		旅行代理店（副支店長）	販売量の動き	・やはり、羽田空港の国際線ターミナルの新設開港が大きく、それに円高の影響も加わり海外旅行需要は伸びている。ただし、国内旅行が個人、法人共に厳しい状況は変わらない。海外旅行が国内旅行の不振を補っている。
		通信会社（販売担当）	来客数の動き	・携帯電話の販売は、前年に比べ12月は来店者数が5%増加見込みであることに加え、顧客の購入意欲が向上してスマートフォンが好調に販売できている。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	お客様の様子	・ゲームセンターを中心とした両替機で、例年、年末は一万円札を両替する客が増えるが、その度合いが例年より早く、かつ多くなっている。また、両替機の両替作業が今月はあまり必要にならない。つまり、千円札を硬貨に両替した客は両替したお金を使い切っていくことが増えている。
		その他サービス〔フィットネスクラブ〕（マネージャー）	お客様の様子	・客の様子から、旅行などのお金を多く使う動向が見られる。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・客の来店数は前年並みで推移しているが、一部贈答品への出費に単価下落があった。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が前年より極端に少なく、売上は半減している。客は大型店に向かっているのかもしれない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・11～12月にかけて、大型電気店は満員であったが、家電エコポイント関連商品を扱っていないところは人出が少なく、年末でも普通と感じている人が多いようである。超大型店が開店したが、客は流動的である。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・歳暮商戦は、個人、法人客共に客単価、平均単価が低下し、前年割れの結果となった。婦人衣料は、ほぼ前年並みに推移しており回復基調にある。可処分所得減少に伴う、購買に対する慎重さは払しょくされず、依然厳しい状況である。
スーパー（総務担当）		販売量の動き	・11月は家電を中心に非常に良かったが、12月はその反動なのか、前半から衣料品関係が伸び悩んで、月末、年末に向けて若干上がったものの、前年割れの状況が続いている。	
スーパー（総務担当）		来客数の動き	・来客数から見て下げ止まり傾向だが、低い水準のまま横ばいである。1人当たりの買上点数も前年割れ傾向が続いている。	
スーパー（統括）		販売量の動き	・単価の下げ止まりと天候の安定から食品は鍋材料を中心に堅調な動向であり、既存店では前年を維持している。お歳暮は、コーヒー類の伸びが大きく、前年比5%増である。衣料品は発熱下着が相変わらず好調だが、中国からの入荷遅れで欠品が出ている。婦人、紳士共に高額品であるコート類が不調で衣料全体では前年比2%減である。	
コンビニ（店長）		単価の動き	・先々月たばこの値上げがあったため売上が心配したが、販売数量自体は完全には戻っていないものの、単価自体が上がったので、ここにきて売上が大分戻ってきている。つまり、今までと変わっていない。	
衣料品専門店（店長）		販売量の動き	・比較的暖かい日が多いせいか、ダウンジャケットやウールコート等の重衣料の売上が悪く、前年比で26%減少している。	
家電量販店（経営者）		販売量の動き	・エコポイント制度の適用範囲縮小による反動減である。	

家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・家電エコポイントの影響で11月と比べ動きが大幅減となっている。テレビが前年比65%、エアコンが70%、冷蔵庫は75%と、影響が出ている。これ以外の家電品ではヒット商品が無いため動きが悪い。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・現在ではボーナス商戦という言葉も聞かなくなったが、新車、中古車の販売は低迷し、どうにか修理をしてつないでいる。
住関連専門店（統括）	販売量の動き	・来店客数と買上客数のかい離が拡大している。
一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・競合店の情報を聞くと、客の数や利用者が非常に減っており、客単価も上がらないために、ここ何か月は変わらない、あるいはやや悪くなっているという状況である。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・忘年会予約の無い日とクリスマス前後3～4日にかけて客数が最悪だったが、予約等のある日は以前より単価が良く、売上全体では前年並みとなっている。
観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・忘年会シーズンを迎え、宴会部門が多少好調であるものの、宿泊部門の実績はここ数か月足踏み状態である。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・自動車、電気関係の企業の業績が悪く、下請、孫請への厳しい価格設定を行い、それに伴う経費節減などのため、出張でも宿泊が伴わない日帰り出張とするため、宿泊の減少が続いている。
都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊、レストラン共に単価は落ちているが、値段を下げた分だけ集客は増えているので、前年と同じような数字を保っている。
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・秋口の旅行申込と年末年始の駆け込み申込や問い合わせに変わりがない。長期の休みで長期旅行を期待したが思うように伸びなかった。しかし、円高の影響もあって海外旅行は少し動きが出てきている。
通信会社（局長）	お客様の様子	・販売数に大きな変化はない。
遊園地（職員）	来客数の動き	・3か月連続で前年を上回る集客となっているが、前年は新型インフルエンザによる出控え等があり、一概に比較ができないため、景気が上向きになっているとは言い難い。
ゴルフ場（支配人）	お客様の様子	・天候に恵まれ、月初めより予約は戻ってきたが、年末の忘年ゴルフのイメージはもうなくなっており、60歳台の年配ゴルファーが中心である。
ゴルフ場（業務担当）	単価の動き	・前年に比べて単価が若干上向いている。5%まではいかないが、3%程度は単価が前年より良くなってきている。ただ、入場者数は前年より若干下回っている。
ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・前年同月の来客数と比べ、ほぼ変わらない。
競輪場（職員）	お客様の様子	・普段12月は来場者、購買単価共に上がるのだが、今年に限ってはほぼ前年並みで増加傾向が見られない。
その他レジャー施設 [アミューズメント]（店長）	お客様の様子	・冬休みに入り、ファミリー向け映画公開が相次ぎ、ファミリー客の来店が多くなっている。また、問い合わせが相次ぐほどの人気キャラクター景品が何種類も出て来ている状況で、長く遊んで行くファミリー客もよく見られるようになっている。ただ3か月前は母体ショッピングセンターの来客数が好調であったため、比べると変わらない状況である。
その他サービス [清掃]（所長）	それ以外	・有名な衣服店やスーパーなどでは目玉商品を新聞等の折込で案内し、店内、レジ、駐車場など大変混雑しているが、多くの人は安価な商品を購入している状況であり、大きな変化はない。
その他サービス [立体駐車場]（従業員）	お客様の様子	・単価、来客数、売上はほとんど横ばいで変わらないが、使用するサービス券の時間どおりに戻る客がほとんどで、やはり客の財布のひもが固くなっている。それほどの効果が得られず、販売についても変わらない。
設計事務所（経営者）	お客様の様子	・客の設備投資等の話が全く無い。
設計事務所（所長）	お客様の様子	・3か月前と変わらず、もっと前からずっと悪いままの状態が続いていて、良くなる兆候はない。客から直接の照会や相談は全く無く、かろうじて協力業者を通じての仕事でやり繰りしている。

	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・相変わらず景気が悪く、アパート、テナント等も引き合いが少なく、空室状態が続いている。中古住宅、土地等についても、デフレ現象の中、客はまだ値段が下がるだろうと悠長に考えているようで成約に結び付かない。街中も空洞化が進み、シャッターが増えてきている。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・住宅エコポイント制度の効果か、リフォーム部門の動きはやや良くなってきており、資材の一部にも品薄感が出てきているが、アパートなどの収益物件は大変厳しい状況が続いている。
やや悪く なっている	一般小売店〔家電〕 (経営者)	お客様の様子	・エコポイント制度の変更に伴い家電購入のピークは過ぎた。エコポイントによってテレビの前倒し購入が促されたが、その後の販売は厳しく、もともと必要に迫られていたものを制度を利用して購入に至った消費者の財布のひもはますます固くなっている。
	スーパー(経営者)	それ以外	・家電エコポイント変更により全体的にムードは沈滞している。
	スーパー(店長)	来客数の動き	・当地の基礎産業であるスキー場の降雪が遅れているため、業務需要を中心に厳しい状況である。年越しに降雪があっても、既に後の祭りである。
	スーパー(経営企画担当)	競争相手の様子	・12月も新たな競合店2店の影響を受け苦戦したが、年末商戦で若干持ち直した。例年のことであるが伝統的な年末商材の需要は減少している。
	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・売上、客数共に前年比96%とやや悪い感じがする。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・販売台数は依然として厳しい状況で、販売台数が増加するような状況ではない。
	乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・毎月、前月に比べ中古車、新車共に販売台数が落ちている。年末にかけてこんなに販売台数が伸び悩むのは本当にまれである。
	住関連専門店 (仕入担当)	販売量の動き	・12月に入っても暖房機器等の冬物の販売数が上がらない。消耗品の単価下落も止まらない。
	高級レストラン (店長)	販売量の動き	・ディナータイムの宴会予約がここ10年で最低である。忘年会を低価格で抑えたり、行わない傾向が強い。
	都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・病院や老人ホームの関係者をターゲットにした結果、忘年会の利用があり、売上は伸びたが、一般企業については、非常に景気が悪い。
	都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・10月と12月に2つの新規ホテルがオープンして3か月は特別に単価を安くする売込みがあったので、当方でも特別の激安単価でプランを出したが、法人関係はかなり取られてしまっている。
	タクシー(経営者)	お客様の様子	・12月は1年で一番人の動きが多く、一番の稼ぎ月であるが、今年は全体の動きが悪く、前年同月比2%の減少である。
	美容室(経営者)	それ以外	・独立開業資金によって店を出したい従業員が若干増えている状況だが、忘年会など各種会議で景気について話すと、元気な業界はどこもなく、各業界とも景気の悪い話ばかりになっている。
	住宅販売会社 (従業員)	それ以外	・別荘の売却希望者が増加傾向にあり、手持ち物件の在庫が高水準になっている。
住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・販売量の冷込みが続いている。	
住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・公務員以外の顧客は来っていない。民間は相当厳しさが出てきており、先行きが不安なので長期のローンを組むことが難しい。	
悪く なっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・クリスマス景気も年の瀬景気も全く感じられない上に、早々に年末休業に入る店があり、街はがらんとしたままである。
	一般小売店〔衣料〕 (経営者)	販売量の動き	・今月に入って資金繰りで問題が生じ、小規模事業者経営改善資金融資制度を利用して経営資金を借りた。大変厳しい状況である。
	衣料品専門店 (販売担当)	お客様の様子	・客は口では品物を見に出かけてくると欲しくなると言っているが、残念ながら、品物をゆっくり見るよりは逃げるように帰っていく雰囲気である。いつもならば30分～1時間くらい世間話をして時間をつぶしていく客も、このところは一言二言の立ち話だけで帰っていく。
	家電量販店(店長)	それ以外	・エコポイント申請条件一部変更となるため、駆け込み需要による特需があったが、条件変更後の現在は、エコポイント対象商品が急激に落ち込んでいる。

		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・エコカー補助金終了による反動減が続いている。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・忘年会が尋常でないくらい減少した。全くお金動かなくなってきたのを実感している。もう駄目かもしれない。
		スナック(経営者)	競争相手の様子	・大型店、チェーン店が続々と出てきて、小さいところはとてもかかない。
		通信会社(経営者)	販売量の動き	・例年、年末は行政関連からの年度内調整の受注が多いが、本年は催促をかけても緊急雇用以外に予算無しとの返答である。非常に厳しい年末であり、受注の下降線に歯止めが無い。
企業 動向 関連	良くなっている	その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き	・廃家電プラントの環境機器の高効率追求に関する設備増強計画があり、更に今年も行政のリサイクルプラントで4月以降の機器設置計画が上がっている。
	やや良くなっている	一般機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・中国や東南アジア向けのショベルカー用油圧機器部品の増産傾向が鮮明であり、当社の取引先で今期は過去のピーク時を上回る生産を計画する会社が増えてきている。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・大分仕事の増えている様子の取引先が若干出てきている。
		不動産業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・ここに来て、少し問い合わせや賃貸の申込があるので、不動産販売で少し良い状況が見える。また、一時的なものと思われるが、ホテルのほうも忘年会など年末のイベント需要で、先月までに比べれば稼働状況が良くなっている。
	変わらない	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・ボジョレーヌーヴォーに影響され、国産物も伸びると思ったが、期待したほどの販売量がなかった。ただし、一部、国産ワインコンクールの受賞ワインは好評である。
		金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・大手有力企業の上期9月決算の実績は、税引前の平均経常利益が2.4倍と相当良い業績であった。当社の親会社3社もここに入り、外需の取り込みと合理化によって株価も相当上がっている。この分だと先行きに少し希望が持てそうで安心である。
		一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・受注量は特に増えていないし、特に変わったこともない。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・リーマンショックの時の受注量から比較すれば2~3割は良くなっているが、売上は上がったりが下がりたりで前年同月の3か月と比較しても、3%台くらい下落となっており、徐々に下がってきている。
		輸送業(営業担当)	取引先の様子	・寒くなり、冬物家電等の安売り商品の動きが大変良くなっており、年末年始の荷動きも良く、前年を大幅に上回っている。
		通信業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・価格競争が厳しくなってきている。
	新聞販売店[広告](総務担当)	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は前年比ほぼ100%である。賞与等が出た会社が多くなり、小売業関連の動きが活発になっている。家電量販店ではエコポイント半減に伴い、大判チラシで攻勢をかけ競争する機会が多く見られたが、一方で車のディーラーでは車の売上が落ち、車検や整備等の獲得に力を入れていると話している。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・売上など相変わらず厳しい状況が続いており、上向き傾向は今のところ見えない。	
	司法書士	受注量や販売量の動き	・12月とは思えない仕事量の少なさであった。12月に職員の残業がゼロになることは考えられなかったが、そうなったということは、かなり悪い。	
	その他サービス業[情報サービス](経営者)	受注量や販売量の動き	・特段の変化は見られない。	
	やや悪くなっている	食料品製造業 (製造担当)	受注量や販売量の動き	・消費者の年収の落ち込みもあり、本当に必要なもの、できるだけ安い物にしかお金をささなくなってきた。売り場の構成も下段から安いものになっており、粗利が取れない状況にある。
		出版・印刷・同関連産業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・チラシの入稿件数が前年より1割減少している。
		輸送用機械器具製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・販売量については3か月前と比べて約5%程度増えたが、収益面ではコストダウン要請が強く、その分を直接かぶってきたため、ほぼ収支均衡状況になり、収益が出にくくなっている。

	金融業（役員）	取引先の様子	・自動車や家電業界への補助金の期限を迎えたことによって売上が反動的に落ち込んでおり、同業界関係の製造業においてもやはりその反動で受注が減少してきている。	
	不動産業（経営者）	競争相手の様子	・どこの物件もメンテナンスが非常におそろしくなっていて、外見にも影響を及ぼすようになってきている。	
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・空室テナントの新規入居の話もなく、テナント内の年末特別清掃の希望を聞いても、テナントが費用を負担するため、昨年よりも実施するところが減っている。	
悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主力取引先からの受注が不況の影響から伸び悩んでいる。	
	その他製造業【宝石・貴金属】（経営者）	受注量や販売量の動き	・クリスマスセールにおいても高額なジュエリーは売れず苦戦している。12月の売上及び年間の売上は前年比7%ほど減少している。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今期は3か月経過時点で、受注金額は前年比105%となっているが、受注に関しては同額入札によるくじ引きが続いており、12月はくじによる受注はゼロであった。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	採用者数の動き	・得意先が増えたわけではないが、仕事量が各工場で少し多くなり、当社分もわずかに人が増えている。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・12月は例年のごとく、サービス業、流通、商店などは繁忙期になるので、特に求人情報誌などではパート、アルバイトの募集が多く、今年もこの期間は活発である。
変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・家電品等の製造業の求人が増加し、それに関連して流通関係の求人も増加している。	
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・食品製造と年末、クリスマス商品の製造、販売は目立っているが、電子機械製造はさほど変わりなく、冬物の衣料にも活発さは見られなかった。住宅関連業の請負にも動きはない。	
	人材派遣会社（管理担当）	周辺企業の様子	・派遣については前月同様である。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・建設業の一部に持ち直しの動きがあり、11月は前年同月比で108.2%と新規求人が増加したが、産業全体には求人意欲の高まりはまだ感じられない。長引く円高の状況から、先行きの不安感がまだ払しょくできていない。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・11月の新規求人は前年同月に比べ10%増加したが、前月比では減少となっている。	
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人をけん引する製造業において、受注は増加しているものの単価が厳しく、収益不安等から、新たな社員採用に全くつながっていない。	
	学校【専門学校】（副校長）	求人数の動き	・すでに平成23年度の就職活動が開始されたが、動きのある企業は例年と同じか減少傾向にある。	
やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人社の求人意欲が減少、減退しているのか、新規求人数は3か月連続で減少している。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業の求人が減少している。事業所を訪問しても求人が増える要素があまり無い。	
悪くなっている				